

四 国

四国の景況は、住宅建築が横這いとなったものの、個人消費、生産活動が持ち直しなど、持ち直し。

個人消費は、乗用車販売が増加したほか、スーパー販売も増加し、緩やかな持ち直し。住宅建築は、分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少し、全体では横這い。設備投資は、非製造業で投資を積み増す動きがみられ、やや上向き。公共工事は、国、県が減少し、弱含み。輸出は、船舶、荷役機械が増加し、足許増加。

生産活動は、電気機械、鉄鋼が増加し、緩やかな持ち直し。観光は、温泉地、観光地への入込客が増加し、堅調。雇用は、有効求人倍率が上昇したほか、現金給与総額も増加し、改善基調。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								